

平成25年度第2回青梅市行財政改革推進委員会議事概要

1 日時

平成25年8月23日（金） 午前8時55分から午前10時57分

2 場所

青梅市役所 議会棟3階 第3委員会室

3 出席者

[出席委員]

榎本晶夫委員長	押切重洋委員	嶋崎雄幸委員
水村美穂子委員	菊池一夫委員	中川般夫委員
奥住尚弘委員	井上忠男委員	増田 擴委員
中村 充委員		

[出席青梅市職員]

竹内青梅市長以下10名

4 議事概要

(1) 委嘱状交付

(2) 市長あいさつ

(3) 委員自己紹介

(4) 理事者および職員紹介

(5) 委員会の概要説明

【行政管理課長説明】

(6) 議題

ア 委員長の選任

榎本委員が推薦され承認された。

イ 委員長職務代理者の指名

榎本委員長から押切委員が指名され、承認された。

ウ 今後の委員会の進め方について

各委員の意見交換。重点テーマについて取り上げたいことがある委員は、次回までに具体的な提案を事務局に提出することとする。

エ その他

行革プラン等に対する質疑応答、意見交換。

(7) その他

【行政管理課長説明】

定例会スケジュールについて説明。

5 主な質疑・意見等

○今後の委員会の進め方について

《意見・要望》

- ・行財政改革は、無駄なところを削減していくことは重要だが、切り詰め過ぎも良くない。発展性のある活気あるまちづくりを考える必要がある。
- ・民間でできることはどんどん民間に進めてほしい。民間への支援をしてほしい。
- ・税金を上げれば富裕層は逃げていくので、税金を下げながら企業を活性化、人口を増やして税収を増やすために、行政と民間でともに何かできれば。
- ・人口を増やし、税収を増やし財政の安定策を量ることが重要。
- ・人口の減少に対応した施策が喫緊に必要。
- ・市内企業の経営効率化への支援の仕組みを作って、法人税の増収につなげていくことが必要ではないか。
- ・支出を抑えるだけでなく、活気が出てくるまちづくりをすれば、税収が増え青梅市も潤いいろいろな事業ができるようになる。そのためには、まずは市の事業に無駄がないかをチェックしていくことが重要ではないか。
- ・行革推進プラン等を読んでいると、ネガティブ要因を消していくことにウエイトがおかれ、将来性を感じない。将来を見据えたうえで、青梅市の肝になるような方向性を決めて、先々につながるものにウエイトを置いても良いのではないか。
- ・財政基盤の確立という問題がいちばん大きいと思う。重点テーマを決めてチェックしていったらどうか。
- ・行革の中心は市職員であると思う。自ら課題を発見し意欲的に取り組む、市のために一生懸命働く人材を多く生み出せば改革が進むのではないか。意欲的な職員を作るための方策を検討してみてはどうか。
- ・内部組織を充実させ、職員を育て、人数的に無駄のない組織にすることが大事。
- ・先々のことを考えたインフラ整備の対策が必要。
- ・青梅らしい土産を作ってはどうか。
- ・改革と改善を混同しているケースが多い。
- ・行革推進プランに数値目標が非常に少ない。実行計画が入っていない。

○その他（行革プラン等に対する質疑応答・意見交換）

《質疑》

- [Q] 補助金交付団体への退職職員登用はあるのか。
- [A] 補助金交付団体に職員のOBが働いている実態はあるが、斡旋はしていない。それぞれの団体の考え方で雇用していると考えている。
- [Q] 市債発行の際に、国の許可等は必要なのか。また、市債発行の上限はあるのか。
- [A] 市債発行は、現在は国の同意の手続きで行い、利率の有利なものを選定しつつ借入れをしている。一般会計では、借入額が償還額を上回る傾向がここ数年続いているが、他の会計では逆に償還額が上回っている。なるべく市債は発行しないという方針はも

っているが、具体的な数値目標は立てていない。

- [Q] 競艇事業（収益事業会計）について、収益は分かるが、収益を上げるためにどれだけお金を使ったのかということが分かるような損益計算書的な見方はしているのか。
- [A] 現在、企業会計については総合病院のみ。収益事業会計については、企業会計方式が馴染むかどうかを検討している。単年度収益がわかりやすくなるような損益計算書を作るように検討している。
- [Q] 企業誘致の推進については、現状はどんな動きをしているのか。
- [A] 所管は環境経済部の商工観光課。中小企業庁等に情報を流している。年内に移転する会社が1社あるほか、問い合わせもあり、手ごたえを感じている。来年度以降、固定資産税に見合った補助金を予算計上していく予定でいる。
- [Q] 学校給食費は児童手当から天引きすればよいと思うが、現状はどうか。
- [A] 私債権のため、保護者の同意を得て、滞納が多い方については児童手当からの天引きを実施している。
- [Q] 保育料は、滞納の場合、給与を差し押さえられないのか。給与所得との相対で保育を受けさせているのだから、「保育料を払わない場合には勤め先からの給与差し押さえをしていただいても構いません」という一筆を取って差し押さえるのも当然だと思う。
- [A] 保育料滞納者の預貯金差し押さえは、実施した事例はある。今はできる限り、児童手当からの天引きに努めている。給与差し押さえについては、よく検討するよう担当課に伝える。
- [Q] 広域的な連携の推進について、西多摩地域広域行政圏協議会があるようだが、近隣地域では利害関係が相反する場合もある。例えば、横田基地の軍民共用化は、青梅市にとってはプラスになるのではないと思うが、協議会でそのような議論はあるのか。
- [A] 協議会の中では、軍民共用化についての議論は出ていない。
- [Q] JR改善要望に複々線化があったかと思うが現実的には考えにくいので、車両編成を長くして輸送力をアップするなど現実的な施策に変えていかないと、青梅市にとってプラスにならないのではないかと。複々線の推進が本当に良いことなのか。
- [A] JR東日本には、毎年西多摩広域行政圏協議会で要望しており、複々線化についても要望した。JR東日本としても、単独では難しいので、東京都などと一緒に進められればという回答があった。車両編成を長くすることについては検討しているそうだが、東青梅駅がネックになっているので伸ばせないと聞いている。キャパシティについては、JRでは今、車体を横に広げて輸送人数を増やして対応していると聞いている。